

様式1

令和7年度 第1回学校運営協議会報告書

学校名	鳥取県立倉吉農業高等学校
開催日時	令和7年6月10日(火) 10時～12時
会場	倉吉農業高等学校 会議室

参加者 学校運営協議会委員10名

(横川力氏、福嶋千寿子氏、松田順子氏、山田繭子氏、井木敏晴氏、牧田悟氏、
中山歩み氏、松井啓介氏、本校管理職(木村教頭、日置教頭))

オブザーバー3名(事務長、主幹教諭、舎監長)

開会前に「辞令交付」

1 開会

2 学校挨拶(教頭)

- ・本校は今年140周年を迎える。11月6日にエスパック未来中心で記念式典を行う予定
- ・生徒も日々学びを深めている。各科ではさまざまな取り組みを行っている。
(生物科、食品科、環境科の取組紹介)
- ・日々の学びを地域との交流を通しながら、活動し主体的に学ぶ力をつけている。
- ・DXハイスクールについて紹介。従来の学びも大切にしながら、先進的な学びも進めている。
委員の皆様にご意見をいただきながら、さらに良い教育ができるようにと思う。

3 自己紹介

4 学校運営評議会について

5 会長及び副会長の選出について →承認 ※進行(議長)は会長。

6 令和7年度学校教育方針及び学校自己評価について(教頭)

(1) 令和7年度学校運営方針等の説明(教頭)

(2) 学校の自己評価の説明(教頭)

議長：学校運営方針について、去年と大きく変わったところはないか。

学校：新しい分野に挑戦していく。DXハイスクール、和牛の飼育など。

委員：大型特殊免許は生物科3年生のみになっているが、食品科流通コースでも田植え機やトラクタを使うので取れるようにしてはどうか。

学校：新しいことを取り入れるためにはしくみや人のことがある。今後の課題として検討。

委員：部活動の活性化について、部活動をやっている比率はどれくらいか。

学校：寮があるのでやっている方だと思うが、過去に比べて減っている。6割くらいか。

委員：今の若い人はミスを恐れたり、周りの目を気にしたりする傾向があり、社会に出てから自ら動けなかったりする。部活動や生徒会、寮生会などの体験を積まないと社会に出てからなかなかリーダーシップが発揮できない。

学校：本校は校内の学びだけにとどまらず、地域に出て行き学校外の方々と交流し、学んでいる。

それを積み重ね最終的に社会に出て行く。

学校：本校は放課後に農場実習がある。その中で失敗し、考えて実行している。課題研究の授業の中でも放課後活動し、地域に出て行き、主体性・自主性を育んでいる。

委員：部活動の指導者が足りているのか。時間外業務も360時間超えないとある。農場管理職員の増員等ある。実際、現場が足りているのか。増員ができるのか。

学校：部活動でいうと、柔道部が頑張っているが、放課後、農場当番があり、担当教員が畜産を持っている。協力し合いながらやっている。農業管理職員は2名ついている。業務の改善につなげていきたい。限られた時間の中で部活動も頑張っている状況にはある。

学校：部活動の外部指導者や部活動指導員は剣道部、柔道部、アーチェリー部で1名ずつ。他の部も外部指導者等をお願いしたいという要望はあるが、なかなか指導できる人を見つけることが難しい。部活動の時間外が毎月30時間越えないように部活動計画や実績も確認している。

議長：部活動の活性化は中学生の進路意識に影響。生徒会が学園祭など盛り上げていくと中学生に響く。何か生徒が一丸となっていくように工夫されていることはあるか。

学校：生徒会組織の中に農業クラブがある。それぞれの場面で生徒会、農業クラブが動く場面があり、2つ生徒会があるようなイメージ。生徒の力で活動する場面がある。寮も寮生会がある。寮の中にも行事がある。

議長：定員が少ない学校なので、やろうと思えばいろんな活躍する場面がある。

学校：生徒が活躍する場面という話が出たので紹介します。

寮パンフレット、大型モニターでホームページ、学校パンフレットで生徒の活動を確認。

Y o u T u b e の動画（学校紹介視聴）

議長：こういう風に発信してるし、生徒が活躍する場がたくさんある。

学校運営の基本方針の承認 →承認

7. 意見交換

委員：2年生から資格を取って大学入試に向けて目指すということがあるか。

学校：進学に関してはさまざまな受験があるが、基本的には9月以降に試験があるので8月までに資格が取れると良い。進路ガイダンスなどで早く指導していく。

学校：試験の方法でディスカッションなどがある。自分がどういうことをやってきたかとアピールできるかが大事。

学校：県内の国立大学に合格した生徒はスーパー農林水産業士を取得。1年次から希望を取りながら長期休業中にさまざまな研修を継続して取り組み、3年次の2月に認定される。この大学の場合、スーパー農林水産業士が要件にもなっている。ガイダンスなどでこういう資格を持っていると優位になるということも伝えている。農業クラブや課題研究で成果を出せば活動が評価される。

委員：農業体験の中で生徒が主になって農業体験を指導している。小学生との交流を通して生徒の活躍の場、生徒の主体性を育むことができる。他校にはない経験ができるチャンスではないか。農高の強みではないか。ぜひ、続けていってほしい。

学校：自分の体験してきたことをしっかりと話せる。そういう指導をしている。なぜその研究を始めたのか。過程や結果がどうだったのか。それが今後どう発展していくのか。

委員：生徒は、生産物販売実習などで色々な場面で地域に出かけることを体験している。自分の娘も卒業生である。私も農高が大好きで、娘がいるときにもっとしっかり勉強してくれてたらなと思っているが、高校時代にいい経験をさせてもらって今でも元気に働いている。多くの生徒が地域で社会に貢献できるように育ててほしい。

委員：この学校出たらあいさつができる。

委員：あいさつ、返事、時間を守るなどいわゆる常識ができれば活躍ができる。うるさく言ってもらった方がよい。

委員：家庭学習時間調査で勉強しないという生徒がいるがどうか。

学校：ここの学校だけではないが、自学が身につけてない中で入学していると感じる。学校の勉強はしていないが、資格取得の勉強をしているという生徒もいる。中学校はどうか。

委員：教員が出した宿題は生徒にはニーズがない。中学校では協同学習を取り入れている。学んだことをもっと知りたい、学びたいという授業展開にしていかないといけないと思っている。子どもたちが自分でつかみに行く。そういう授業や家庭学習にしていくための授業改善をしていきたい。

委員：私たちの職人業界でも一流の職人の映像を撮って、それをまねしてやりなさいとやるとすぐ習得が早い。逆に想像力や探究心になると、読書したり、授業で追求していくことが求められる。学校である程度、そういう部分は蓄積していかないと難しいのではないか。

議長：知的好奇心に突き動かされて自ら動いていくような学びが理想だということ。そういう部分では学校図書館が大事ではないか。文学で培った想像力だとか、世の中や人間に対する見方とか、実学でも生きてくるのではないか。新聞も読まないといけない。新聞だと自分の興味のある記事の横に興味のない記事があっても自然と目に入ってくる。

8. その他

教科書選定について（教頭より）

会議室後ろに教科書を展示しておりますので、このあと手に取って見て、ご意見ください。

9. 閉会